

■主催

北海道  
(社) 日本建築家協会北海道支部  
(社) 北海道建築設計事務所協会  
(社) 北海道建築士会

平成19年12月

ARCHITECTURE DESIGN CONTEST 2007

平成19年度 高校生建築デザインコンクール

課題 / 「農業改良普及センター庁舎」



## はじめに

公共建築物は、行政や教育・文化、医療・福祉、研究など、さまざまな分野で、地域の産業や人々の生活に密接な係わりを持ち、地域の活性化や道民生活の向上並びに気候風土等と調和した魅力あるまちづくりを推進する上で重要な役割を果たしています。

北海道では、平成8年度から建物を所管する部局の協力を得ながら、「高校生建築デザインコンクール」を実施し、道内の工業高校生（建築系）を対象に夢のあるユニークなデザインを募集し、その提案を実施設計に取り入れ、道民に愛され親しまれる施設となるよう建設を進めています。

さらに、平成12年度からは、コンクールの内容を一層充実するため、(社)日本建築家協会北海道支部、(社)北海道建築設計事務所協会、(社)北海道建築士会との共催事業としています。

将来建築を志す高校生の皆さんがコンクールに参加することで、公共建築物について考え、そして学んだ経験は、今後建築技術者として第一線で活躍される上で貴重な財産になるものと期待しています。

今回の課題は、地域の農業の発展に貢献する施設として、日本海の町に改築を予定する、「農業改良普及センター庁舎」に相応しい提案を募集しましたところ12校99人から67作品の応募があり、高校生らしい創造性にあふれたレベルの高い作品が多く寄せられました。

応募された皆様には、心からお礼申し上げます。

厳正な審査を経て、最優秀作品賞1作品、優秀作品賞3作品、佳作4作品が選定されました。受賞者の皆さん、誠におめでとうございます。

北海道においては、この度選定されました最優秀作品の設計趣旨やデザインを平成20年度以降、実施設計に反映し、道民に親しまれる公共建築物づくりに活かしてまいります。

終わりに、高校生建築デザインコンクールの実施にあたり、各高等学校でご指導いただきました先生方をはじめ、関係機関の皆様には多大な御協力を賜り厚くお礼申し上げますとともに、御応募いただいた高校生の皆さんには、今後も専門の勉強に励まれ、将来社会で御活躍されることを心からお祈り申し上げます。

平成19年12月

北海道建設部長 猪俣茂樹

平成19年度

## 高校生建築デザインコンクールの概要

道民に愛され親しまれる公共建築物づくりを進めるため、平成8年度から「高校生建築デザインコンクール」を実施しています。

このコンクールは、次世代を担う建築技術者となる道内工業高等学校（建築系学科）に在籍する生徒から夢のあるユニークなアイデアを募集するものです。

最優秀作品に選ばれた作品の提案趣旨は、北海道において、実施設計に取り入れ道民に親しまれる施設となるよう建設を進めていきます。

### 1 課題 「農業改良普及センター庁舎」

- (1) 研修室は農業改良普及員が農業者等に新しい栽培技術の講習などを行う施設とします。
- (2) 機能的でユニバーサルデザインなどに配慮した施設とします。
- (3) 維持管理がしやすい施設とします。
- (4) 自然エネルギーなどを積極的に取り入れた施設とします。
- (5) 景観などに配慮した施設とします。

### 2 応募資格 道内工業高等学校（建築系学科）に在籍する個人又は3名以下のグループ

### 3 提出図面 JIS規格A2判(420mm×594mm)横置き1枚片面に下記の全ての図面を描く

- ① 設計主旨
- ② 配置図：1/100～1/200
- ③ 平面図：1/100～1/200
- ④ 断面図：1/100
- ⑤ 立面図：1/100
- ⑥ スケッチ
- ⑦ 建築概要

### 4 応募作品 67作品 99名 応募

### 5 入選作品 ・最優秀作品：1作品 ・優秀作品：3作品 ・佳作：4作品

### 6 経過

募集要項配付	平成19年5月29日
作品受付	平成19年8月27日～平成19年9月7日
選定委員会	平成19年10月17日
作品展	平成20年1月7日～平成20年1月11日

### 7 選定委員

安藤敏郎	(社)日本建築家協会北海道支部副支部長
澁谷一昭	(社)北海道建築設計事務所協会技術委員会副委員長
池田浩司	(社)北海道建築士会まちづくり委員会副委員長
辻 敏裕	北海道教育庁学校教育局高校教育課長
加藤和彦	北海道農政部農業経営局技術普及課長
高橋進一	北海道建設部建築局建築整備課長



## 審査講評

「高校生建築デザインコンクール」は、道内の工業高等学校（建築系学科）に在籍する建築を志す生徒の皆様から夢のあるアイデアを募集し、最優秀作品の趣旨を実際の設計に活かして、道民から愛され親しまれる公共建築物づくりを進めようとするものです。今年度も、多くの関係者に支えられて、高校生建築デザインコンクールを盛会に進めることができました。選定委員会を代表して、関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。

今回の課題は、日本海の町に改築を予定している「農業改良普及センター庁舎」で、地域の農業の発展に貢献する施設として相応しい提案を募集しましたところ、12校99人から67作品の応募がありました。

「農業改良普及センター庁舎」は、農業地域の中で、普及指導員が農家の方々に新しい栽培技術の指導を行ったり農業経営の相談に応じたりするため、機能的で維持管理がしやすく、景観等にも配慮した施設が要求されます。

今回も数多くの応募がありましたが、建築を志す高校生の素直で若々しく豊かな発想の作品が多く、将来を期待し、審査をさせていただきました。

審査にあたっては

- ・高校生らしい若々しさと創造性にあふれているか。
- ・設計のコンセプトやデザインに魅力があるか。
- ・立地条件を活かしているか。
- ・実施設計に反映させ得るデザインであるか。

と言った観点から、厳正に審査を重ねた結果、最優秀作品 1 作品、優秀作品 3 作品、佳作 4 作品を選定いたしました。

このほか、惜しくも入賞されなかった作品の中にも、高校生らしい新鮮なアイデアに溢れる提案が数多くありました。

今回の応募いただきました皆様の今後の御活躍を期待いたします。

平成19年度高校生建築デザインコンクール選定委員会  
委員長 北海道建設部建築局建築整備課長 高橋 進一

## 平成19年度 高校生建築デザインコンクール入賞者一覧

### 最優秀作品賞（1作品）

松田 昂士（北海道美唄工業高等学校 3年）  
小林かづみ（北海道美唄工業高等学校 3年）  
大山 和也（北海道美唄工業高等学校 3年）

### 優秀作品賞（3作品）

中村 公男（北海道札幌工業高等学校 3年）  
清川 隼（北海道札幌工業高等学校 3年）  
武田 寛太（北海道札幌工業高等学校 3年）  
加藤 拓哉（北海道札幌工業高等学校 3年）

永江 俊祐（北海道函館工業高等学校 3年）

### 佳作（4作品）

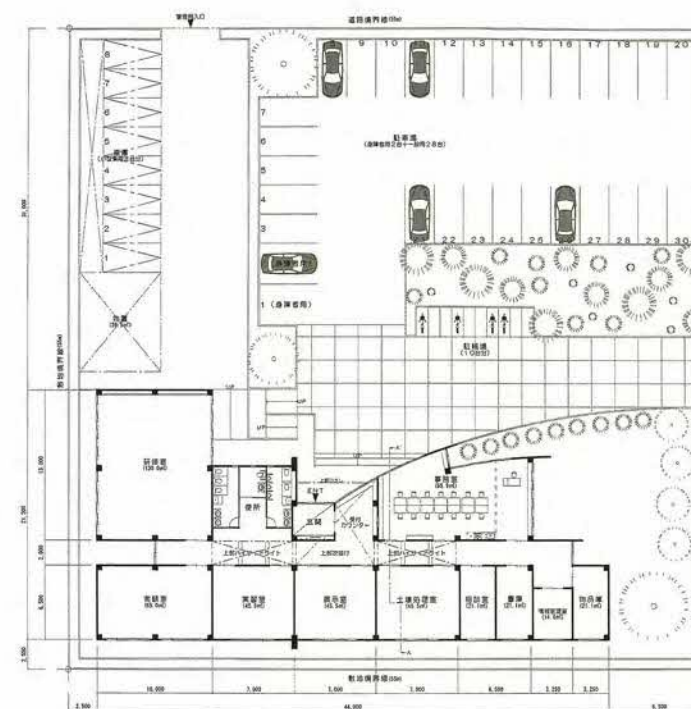
上村 将志（北海道札幌工業高等学校 1年）  
武田 圭矢（北海道札幌工業高等学校 1年）  
水野 結季（北海道札幌工業高等学校 1年）  
徳田 裕大（北海道札幌工業高等学校 3年）  
内崎 脩子（北海道函館工業高等学校 2年）  
橋 亜莉沙（北海道函館工業高等学校 2年）

## 入賞作品

### 最優秀 作品賞

北海道美唄工業高等学校

松田 昂士 [3年]  
小林かづみ [3年]  
大山 和也 [3年]



設計主旨

建物の中央に位置した正面玄関にはアグリカルチャー（農業）の頭文字である「A」を表現しながら、そこに向かって風が吹き込むようなかたちでのデザインとしました。また、維持管理・機能面を考え中廊下型のシンプルな分かりやすい平面計画としつつも、暗くなりがちな廊下等にハイサイドライトを設け、自然エネルギーを利用した採光や換気が可能となっています。この建物が農業の普及に新しい風を吹き込んでくれることでしょうか。

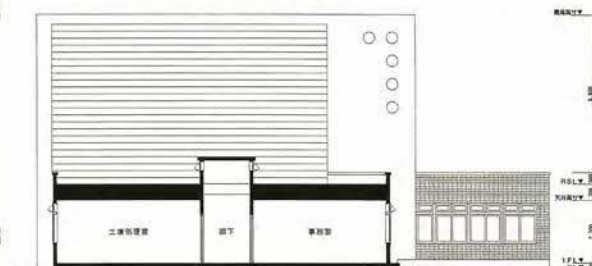
配置図兼1階平面図 (S=1/200)



北側立面図 (S=1/100)

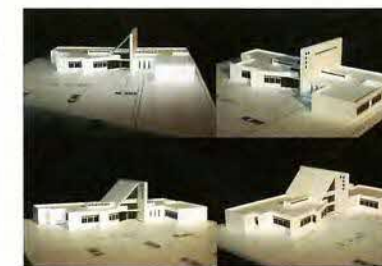
## Agriの風

～平成19年度 高校生デザインコンクール～



A-A' 断面図 (S=1/100)

面積表	
建築面積	654.04㎡
延べ面積	651.55㎡



## Agriの風

### 設計趣旨

建物の中央に位置した正面玄関にはアグリカルチャー（農業）の頭文字である「A」を表現しながら、そこに向かって風が吹き込むようなかたちでのデザインとしました。また、維持管理・機能面を考え中廊下型のシンプルな分かりやすい平面計画としつつも、暗くなりがちな廊下等にハイサイドライトを設け、自然エネルギーを利用した採光や換気が可能となっています。この建物が農業の普及に新しい風を吹き込んでくれることでしょうか。

### 審査講評

敷地全体をうまく利用し、若々しい発想で、シャープで明快なデザインを取り入れたうえ、維持管理も考えられたすぐに実施設計に反映できそうな作品として、高く評価されました。

入賞作品

優秀作品賞

北海道札幌工業高等学校

中村 公男 [3年]  
清川 隼 [3年]



～風の宅急便～

設計趣旨

この地域は基準風速が強いので、大きな風車を設置し庁舎で使う電気をまかなうことができるようにしました。建物は風車をイメージし屋根の形を工夫しました。また、天窓を設け昼間でも照明を使わないように考えました。入り口のところでは憩いの場を設け、風車を見ながら休めるように設計しました。

審査講評

表現豊かに、エコロジーを彷彿させるデザインで、動線計画も適切で、高校生らしい発想で地域のイメージを採り入れた作品として評価されました。

優秀作品賞

北海道札幌工業高等学校

武田 寛太 [3年]  
加藤 拓哉 [3年]



Light in nature ～光に満ちた森～

設計趣旨

この建物は、自然の中にひっそりと、かつ大きな存在感を放っているイメージで設計しました。自然エネルギーを用いた設計をする、ということで、大きな屋根の大部分に窓ガラスを用いて昼間に照明を使う必要を減らし、屋根上端部にはソーラーパネルを設置し、屋根下の開口部で新鮮な空気を取り入れられるようにして、電力消費を極力おさえる工夫をしました。建物の床面の地面をフラットにすることで必要な段差を減らしました。

審査講評

光と風を取り入れた、よく考えられた設計で、広い雁木が北国の建物らしい創造性にあふれている作品として評価されました。

入賞作品

優秀作品賞

北海道函館工業高等学校

永江 俊祐 [3年]



灰 灰

設計趣旨

庁舎を見たとき、どこか懐かしくどこか灰灰するような落ち着いた外観にしたいと思い、歴史的な木造建築を参考にデザインしました。壁には下見板張り仕上げを、屋根にはひし形に鉄板を葺き、檜をつけて廊下に太陽の光や風が入るように工夫しました。内装はバリアフリー、ユニバーサルデザインを意識し、モダンさをアレンジし若い人からお年寄りまで親しみやすい感じになっています。

審査講評

大正時代を思わせるデザインで、暖かく落ち着いた雰囲気が感じられ、使う人の気持ちが和む設計で、実用的な作品として評価されました。



入賞作品

佳作

北海道札幌工業高等学校

上村 将志 [1年]  
武田 圭矢 [1年]  
水野 結季 [1年]



飛鳥

設計趣旨

・雄大な大地を今、まさに飛び立とうとしている鳥をイメージしてデザインしました。  
・明るい未来へ羽ばたくという前向きな姿勢を表しています。  
・大地・作物をイメージした全面の窓(三角を基調とした)を建物の周囲に配置し、リズム感のある、明るいイメージを大切にしました。

・展示コーナーは道路から見える位置に配し、親しみのある建物を目指しました。  
・自然エネルギーの利用を積極的に取り入れ、トップライトに太陽光発電パネル(透過型)、モニュメントもかねてダリウス・サボニウム型の風力発電機を林立させ、木立をイメージして雄大さを表しています。

審査講評

大地から飛び立つ鳥のイメージを表現したデザインを、建築的に良くまとめている作品として評価されました。

佳作

北海道札幌工業高等学校

徳田 裕大 [3年]



大きな玉ねぎの下で

設計趣旨

農業改良普及センター庁舎ということで、私は農作物をモチーフに、農家の方々だけでなく、町の人にも親しんでもらえるようにと、玉ねぎの型をイメージして設計しました。電力は太陽光発電でまかない、自然光をとり入れ、明るく換気の良い中央部分を中心に、各部屋を配置し、安心して利用できるよう考慮しました。

審査講評

玉ねぎの形を取り入れた、創造性にあふれた高校生らしい発想のデザインで、暖かみのある作品として評価されました。

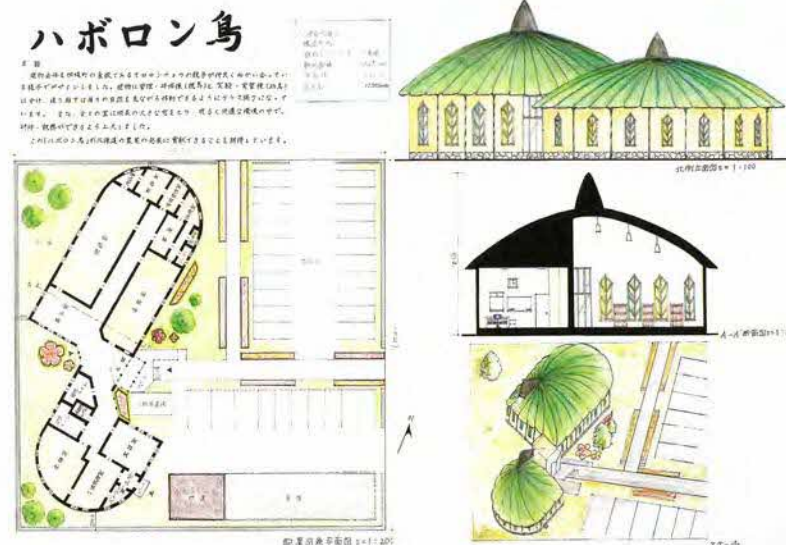
入賞作品

佳作

北海道函館工業高等学校

内崎 脩子 [2年]

ハボロン鳥



ハボロン鳥

設計趣旨

建物全体を羽幌町の象徴であるオロロンチョウの親子が仲良く向かい合っている様子でデザインしました。建物は管理・研修棟(親鳥)と実験・実習棟(幼鳥)に分け、渡り廊下は周りの自然を見ながら移動できるようにガラス張りになっています。また、全ての室に縦長の大きな窓をとり、明るく快適な環境の中で、研修・執務ができるよう工夫しました。この「ハボロン鳥」が北海道の農業の発展に貢献できることを期待しています。

審査講評

親子のオロロン鳥のデザインが、のどかなランドスケープに馴染みそうで、メルヘンがある高校生らしい作品として評価されました。

佳作

北海道函館工業高等学校

橋 亜莉沙 [2年]



あぐりねっとはぼろ

設計趣旨

留萌管内で栽培されている「トルコギキョウ」とはぼろバラ園の「バラ」の花びらをモチーフに農業改良普及センターをデザインしました。平面、屋根は花の形になっていて、屋根の中心部分の天窓から室内に日の光を入れ、研修室、廊下等を明るい空間にしています。庁舎全体はユニバーサルデザインを意識した設計で、利用者が安全・快適に利用できます。この「あぐりねっとはぼろ」で北海道の農業が発展することを願っています。

審査講評

「トルコギキョウ」と「バラ」をデザインに取り入れ、バラの花が咲いた姿を、うまくまとめた作品として評価されました。

# 平成19年度高校生建築デザインコンクール応募者名簿

## 札幌工業高等学校

- 上村 将志 [1年]
- 武田 圭矢 [1年]
- 水野 結季 [1年]
- 3名グループ
- 長砂 雄二 [1年]
- 溝上健太郎 [1年]
- 前田 和輝 [1年]
- 3名グループ
- 佐藤 裕美 [3年]
- 安達悠理恵 [3年]
- 石谷紗瑛子 [3年]
- 3名グループ
- 桂谷 元喜 [3年]
- 上西 佑弥 [3年]
- 2名グループ

- 杉山 拓也 [3年]
- 中村 康宏 [3年]
- 2名グループ
- 中村 公男 [3年]
- 清川 隼 [3年]
- 2名グループ
- 徳田 裕大 [3年]
- 武田 寛太 [3年]
- 加藤 拓哉 [3年]
- 2名グループ
- 大西 陽介 [3年]
- 大友 祐太 [3年]
- 2名グループ

## 函館工業高等学校

- 村本 翼 [3年]
- 石垣 志織 [3年]
- 遠藤友里加 [2年]
- 三國 翔渡 [2年]
- 木村 早希 [2年]
- 宮原 春菜 [3年]
- 小野寺 葵 [2年]
- 鈴木友梨絵 [2年]
- 斉藤 圭祐 [2年]
- 魚住 琴奈 [3年]
- 永江 俊祐 [3年]
- 滝田 諒 [3年]
- 竹内 彩 [3年]
- 瀧本 圭助 [3年]
- 牛脇 奈南 [3年]
- 坂田 建 [3年]
- 星野ひとみ [3年]

- 武田 修平 [3年]
- 原田 恭平 [3年]
- 鳥居 佳織 [3年]
- 金谷 夏妃 [2年]
- 七崎 美里 [2年]
- 石黒 彩乃 [2年]
- 二本柳 咲 [2年]
- 松田香奈美 [2年]
- 南木 彩花 [2年]
- 三上 愛美 [2年]
- 今 彩 [2年]
- 木本幸紗子 [2年]
- 内崎 脩子 [2年]
- 橘 亜莉沙 [2年]

## 小樽工業高等学校

- 廣田 和之 [2年]
- 霜鳥 亮太 [2年]
- 宗山 修 [2年]
- 3名グループ
- 佐久間昌平 [2年]
- 保木 大 [2年]
- 葛西 志保 [2年]
- 3名グループ
- 岡山 僚祐 [2年]
- 伊土 郁宏 [2年]
- 村上飛雄馬 [2年]
- 3名グループ
- 新谷 彬 [3年]
- 寺田 裕紀 [3年]
- 2名グループ

- 児玉 暁生 [2年]
- 水野 一輝 [2年]
- 2名グループ
- 小林 直智 [2年]
- 中川 龍一 [2年]
- 小野 翔平 [2年]
- 3名グループ
- 金澤 彩香 [3年]
- 三上 智香 [3年]
- 2名グループ

## 美唄工業高等学校

- 松田 昂士 [3年]
- 小林かつみ [3年]
- 大山 和也 [3年]
- 3名グループ

## 旭川工業高等学校

- 伴 咲旺里 [2年]

- 秋山 林士 [2年]
- 山下 直人 [2年]
- 山口 敏弥 [2年]
- 3名グループ

## 名寄光凌高等学校

- 星 憲史 [3年]
- 川中 祥嗣 [3年]
- 川口 春輝 [3年]
- 3名グループ

## 留萌千望高等学校

- 瀬川 一人 [3年]

- 今野 翔太 [3年]
- 小林 雅人 [1年]
- 2名グループ

## 釧路工業高等学校

- 田中 里奈 [3年]
- 中屋敷紗也 [3年]

- 青塚 優作 [3年]
- 城野 醇 [3年]
- 鈴木 貴之 [3年]
- 2名グループ

## 帯広工業高等学校

- 小玉麻莉子 [2年]
- 齋藤友里恵 [2年]
- 渡部 栞里 [2年]
- 3名グループ

## 室蘭工業高等学校

- 山根 啓伍 [3年]

## 苫小牧工業高等学校

- 伊藤しずか [3年]

- 堂下 哲寛 [3年]
- 工藤 謙太 [3年]

## 北見工業高等学校

- 米澤 伊織 [3年]
- 土山 拓人 [3年]

- 高橋 彩加 [3年]

応募67作品、参加人数99名(グループ21作品)

## 高校別応募作品数一覧

学校名	応募作品数
札幌工業高等学校	9
函館工業高等学校	31
小樽工業高等学校	7
美唄工業高等学校	1
旭川工業高等学校	2
名寄光凌高等学校	1
留萌千望高等学校	2
釧路工業高等学校	5
帯広工業高等学校	1
室蘭工業高等学校	1
苫小牧工業高等学校	4
北見工業高等学校	3
旭川実業高等学校	0
計	67

